

2020.12.24

Dance Base Yokohama



11月14日DaBYコレクティブダンスプロジェクト第2回新作トライアウトより ©Naoshi HATORI

2021年1月以降のスケジュールを公開

～TPAMフリンジ参加公演「DaBYトライアウト[ダブルビル]」、TRIAD DANCE PROJECT「ダンスの系譜学」横浜トライアウト公演の延期日程などを発表～

Dance Base Yokohama (DaBY) が横浜・馬車道にオープンしてから6ヶ月が経とうとしています。世界的な新型コロナウイルス感染症拡大が深刻な状況のなか、各劇場や施設が総出で対策に奮励しているのと同様、DaBYでも感染症拡大防止対策を行いながら、事業を続けて参りました。

2021年も、状況をふまえながら、DaBYでのライブプログラム及びオンラインの映像配信を用いた様々な事業を継続していく予定です。

次ページ以降に、スケジュール一覧及び詳細情報を掲載しております。

ご取材・ご見学を随時受付しておりますので、ご来館いただける際には、下記 広報担当の田中 (info@dancebase.yokohama) までご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

【LIST】 DaBY Performance & Talk EVENTS 2021

日程	プログラムタイトル	参加クリエイター (抜粋)
2月8日(月)~14日(日)	山崎広太振付 フットノート・ニュージーランド・ダンス『霧、神経、未来、オーシャン、ハロー(木霊する)』映像配信 【TPAMフリンジプログラム】	山崎広太 Footnote New Zealand Dance
2月9日(火) 18:30 2月10日(水) 18:30 2月11日(木) 16:30	DaBYトライアウト[ダブルビル] 【TPAMフリンジプログラム】	DaBYコレクティブダンスプロジェクト 西村未奈・山崎広太
2月9日(火) 13:00- 13:40	グループ・ミーティング 今年度の創作作品や研究会事例/新規プログラム：若手ダンサー向けProLabの紹介	唐津絵理
2月15日(月) 11:00-17:00 2月17日(水) 14:00-17:00 2月18日(木) 11:00-17:00 3月12日(金) 11:00-17:00 3月13日(土) 11:00-17:00 3月14日(日) 11:00-17:00	「言葉と身体」探求ラボ~『恍惚身体論 カラダとアタマで考える。身体観から探るダンス。』	岩淵貞太
2月27日(土) 15:00-17:00	OpenLab『ダンサー、言葉で踊る』vol.5 フリーランスアーティストとして生きる~求めるクリエイティビティとは	湯浅永麻 唐津絵理 小尻健太
2020年12月~2021年2月	ダンスのアクセシビリティを考えるラボ~視覚障害者と味わうダンス観賞篇~	プロジェクトメンバー及びパートナー
3月6日(土) 3月7日(日)	小尻健太及びDaBYレジデンスダンサーを中心とした活動成果発表 新作『Dialogue』	小尻健太 小野麻里子 安心院かな 岡本優香 畠中真濃 植田嵩幸 佐藤琢也
3月21日(日)~3月28日(日)	中村恩恵プロダクション オンライン・プロジェクト 『Puzzled Documents』映像配信	オステアー紗良 清水健太 小尻健太 中村祥子 米沢唯 福岡雄大 中村恩恵
7月3日(土)~4日(日)	TRIAD DANCE PROJECT『ダンスの系譜学』 横浜トライアウト公演・中村恩恵	中村恩恵
8月21日(土)~22日(日)	TRIAD DANCE PROJECT『ダンスの系譜学』 横浜トライアウト公演・酒井はな	酒井はな 岡田利規 四家卯大
9月25日(土)~26日(日)	TRIAD DANCE PROJECT『ダンスの系譜学』 横浜トライアウト公演・安藤洋子	安藤洋子 島地保武 小尻健太 木ノ内乃々 山口泰侑

DaBY Performance & Talk EVENTS 2021

1/9

OpenLab「ダンサー、言葉で踊る」 vol.4
 イマジネーション〜クラシックバレエで見つけた可能性
 @Dance Base Yokohama

(土)

13:00-15:00

ゲスト 酒井はな
 ナビゲーター 唐津絵理 (DaBY アーティスティックディレクター)
 ホスト 小尻健太 (DaBYダンスエバンジェリスト)

1月はゲストに酒井はなを迎え、バレエの経験を通して広がった様々な活動についてのほか、古典バレエ作品やコンテンポラリー作品を見る時、そして踊る時の楽しみ方、また新しい作品に臨むために心がけていることなどを伺います。

料金 2500円 (税込)
申込URL <https://daby-openlabdancer4.peatix.com/> (申込受付中)

1/22

小尻健太+森永泰弘『The Threshold』
 @ゲーテ・インスティテュート東京

(金)

19:30-

小尻健太 (ダンサー・振付家 / DaBYダンスエバンジェリスト)

1/23

森永泰弘 (サウンドアーティスト)
 尾崎聡 (舞台監督・美術)
 上田剛 (照明デザイナー)

(土)

15:00-

18:00-

1/24

2017年より開始した、ダンサー・振付家の小尻健太を起点として他ジャンルのアーティストと協働リサーチやクリエイションを行うプロジェクト「SandD (Project“Surface and Destroy”)」は、2021年1月、新作となる小尻健太+森永泰弘『The Threshold』を発表します。
 サウンドアーティストの森永泰弘と小尻健太の協働から創出される身体表現を軸に、照明デザイナー・上田剛、舞台監督・尾崎聡が参加。ダンサーの身体感覚を共有し、それぞれの創作方法の融合を図るこのダンス作品を通じて、新しい日常と舞台が結びつく場の出現をめざします。

(日)

14:00-

料金 前売り2000円／当日2500円 (税込)
会場 ゲーテ・インスティテュート東京 (東京都港区赤坂7-5-56)
上演時間 60分 (予定)
申込開始 12月27日(日)10:00～
申込URL <https://thethreshold.peatix.com>

詳細はこちら (<https://dancebase.yokohama/events/event/3804>) をご覧ください。

DaBY Performance & Talk EVENTS 2021

2/9 DaBYトライアウト[ダブルビル]【TPAMフリンジプログラム参加】
@Dance Base Yokohama

(火)

18:30- 2021年2月、今年DaBYにてレジデンスや活動を行った日本人アーティストが創作プロセスを公開するトライアウトを開催します。DaBYでこれまでに2度のトライアウトを行ってきたDaBYコレクティブダンスプロジェクトと、現在アメリカを活動拠点とする西村未奈、山崎広太によるダブルビルです。

2/10

(水)

18:30- ①DaBYコレクティブダンスプロジェクト第3回新作トライアウト

演出・振付 鈴木竜 (DaBYアソシエイトコレオグラファー)
ダンス 鈴木竜 / 池ヶ谷奏 / 藤村港平
音楽 タツキアマノ
舞台美術 一色ヒロタカ / 宮野健士郎 (オンデザイン)
ドラマトゥルク 丹羽青人
リハーサルアシスタント 畠中真濃 (DaBYレジデンスダンサー)
制作 田中希 (DaBY)

DaBYアソシエイトコレオグラファーの鈴木竜を中心とした異ジャンルのクリエイターらにより創作を行うプロジェクトの第3回トライアウトです。11月に行われた第2回トライアウトで着目した善と悪の間で揺れる身体をさらに突き詰め、私たちが日々の中で行う何気ない選択、些細な決断がいかに意図せぬ結末に至るかを探ります。

②『幽霊、他の、あるいは、あなた』(ワークインプログレス)

振付・テキスト・出演 西村未奈、山崎広太
音楽 菅谷昌弘

山崎広太と西村未奈が、2020年12月にフロリダ州立大学、マギーアレー国立振付センター (MANCC) にて共同で創作した新作『幽霊、他の、あるいは、あなた』のワークインプログレスを上演します。今作では、自然の複雑で静的な世界の中で、二人の異なる歴史、知覚、細分化された内部の風景を受け入れることができるフラクタルで気象のような身体、そして老いる時間を調査します。

□料金 3000円 (税込)
□上演時間 80~90分 (予定)
□申込開始 詳細は後日発表いたします

2/8 山崎広太振付 フットノート・ニュージーランド・ダンス
『霧、神経、未来、オーシャン、ハロー (木霊する)』映像上演【TPAMフリンジプログラム参加】
@オンライン

(月)

~2/14

(日)

振付 山崎広太
出演 Footnote New Zealand Dance

DaBYオープニング記念イベントで「ダンステレポーテーション」を発表し、今回のトライアウトにも参加する山崎広太が振付を行った、ニュージーランドのダンスカンパニー「Footnote New Zealand Dance」の作品。感染症拡大の影響により来日が延期となったため、映像配信を行います。

□料金 1500円 (税込)
□上映時間 34分
□主催 一般社団法人ハイウッド / 共催 Dance Base Yokohama
助成 文化庁文化芸術振興費補助金 (国際芸術交流支援事業)、独立行政法人日本芸術文化振興会
公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

DaBY Performance & Talk EVENTS 2021

2/27

(土)

15:00-17:00

OpenLab 「ダンサー、言葉で踊る」 vol.5

フリーランスアーティストとして生きる～求めるクリエイティビティとは

@Dance Base Yokohama

ゲスト 湯浅永麻

ナビゲーター 唐津絵理 (DaBYアーティストティックディレクター)

ホスト 小尻健太 (DaBYダンスエバンジェリスト)

2月はゲストに湯浅永麻を迎え、ネザーランド・ダンス・シアター (NDT) で10年間活動してきた経験や様々な振付家との協働経験を現在どのように生かしているか、海外と日本のダンス環境の相違点や共通点などを伺います。

□料金 2500円 (税込)

□申込開始 1月16日(土)10:00～

□申込URL <https://daby-openlabdancer5.peatix.com/>12月
～2月

「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ～視覚障害者と味わうダンス観賞篇～」

@Dance Base Yokohama (クローズド)

ドキュメンタリー映像公開 @オンライン 「THEATRE for ALL」

Dance Base Yokohamaは、視覚障害者とダンスの新しい味わい方を探求するプロジェクト「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ～視覚障害者と味わうダンス観賞篇～」を立ち上げました。本プロジェクトでは、振付家・ダンサーが新たに創作したダンス作品を、「言葉で伝える」プロフェッショナルである批評家・詩人・美学者・インタープリター (解釈者) によって描写されたナレーションとともに、視覚障害者が観賞します。

ここで生まれる対話を通じて、「ダンス観賞に必要なサポートは何か」を知るだけでなく、視覚障害者の視点から「ダンス観賞とは何か」というダンスの新しい可能性を発見します。さらに、振付家・ダンサー・プロデューサーがインクルーシブな視点を獲得し、新たなダンス表現の開拓や、作品の可能性を広げることも期待しています。

研究会の様子は、ドキュメンタリー映像としてまとめ、株式会社precogが展開するバリアフリー型プラットフォーム事業「THEATRE for ALL」にて2021年2月の配信を予定しています。

令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業『文化芸術収益力強化事業』 バリアフリー型の動画配信プラットフォーム事業

【プロジェクトメンバー】

唐津絵理 (DaBYアーティストティックディレクター・愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)
吉田拓、田中希、二河茉莉香 (DaBY)
兵藤茉衣、関萌美 (株式会社precog)
林建太、浦野盛光、中川美枝子
(「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ」)

【プロジェクトパートナー】

ディスクライバー

伊藤亜紗 (東京工業大学科学技術創成研究院未来の人類研究センター、リベラルアーツ研究教育院准教授)
大崎清夏 (詩人)
乗越たかお (作家・ヤサぐれ舞踊評論家)
和田夏実 (インタープリター)

研究会ゲスト

山上庄子、松田高加子
(Palabra株式会社)

作品出演

四家卯大 (チェリスト)
鈴木竜 (振付)
池ヶ谷奏、藤村港平、畠中真濃、神村結花 (ダンサー)

DaBY Performance & Talk EVENTS 2021

3/6 小尻健太及びDaBYレジデンスダンサーを中心とした活動成果発表 新作『Dialogue』
@Dance Base Yokohama

(土)

3/7 振付・演出 小尻健太 (DaBYダンスエバンジェリスト)
振付助手・出演 小野麻里子 (DaBYレペティター)
(日) 出演 安心院かな / 岡本優香 / 畠中真濃 (DaBYレジデンスダンサー)
植田崇幸、佐藤琢也

オープン以来、DaBY主催のProLab「Class」でトレーニングを続けてきたDaBYレジデンスダンサーを中心に新作『Dialogue』を発表します。クリエイションのプロセスでは、プログラマ堂園翔矢による機械学習を用いたダンスノーテーション「Kinematics(仮)」を活用します。

3/21 中村恩恵プロダクション オンライン・プロジェクト「Puzzled Documents」映像配信
@DaBYチャンネル

(日)

~**3/28** 振付 中村恩恵
音楽 ディルク・ハウブリッヒ
(日) 演出・編集 中村芽

2021年3月に、Dance Base Yokohamaでは、YouTubeのDaBYチャンネルにて、中村恩恵プロダクション オンライン・プロジェクト「Puzzled Documents」にて製作される映像作品を公開することが決定しました。現在、既に一部の映像の創作が進んでおり、これらがすべて完成したのち、下記の8日間にわたり、毎日1作品ずつ公開する予定です。

詳細及び本企画に寄せた中村恩恵のコメントはこちら (https://dancebase.yokohama/event_post/20210321-0328) よりご覧ください。

□出演 月曜日・オステアー紗良 | 火曜日・清水健太 | 水曜日・小尻健太
木曜日・中村祥子 | 金曜日・米沢唯 | 土曜日・福岡雄大 | 日曜日・中村恩恵
□主催 中村恩恵プロダクション / 広報協力 Dance Base Yokohama

7/3,4 【延期日程決定】TRIAD DANCE PROJECT「ダンスの系譜学」横浜トライアウト公演
@Dance Base Yokohama

(土)(日)

8/21,22

(土)(日)

9/25,26

(土)(日)

DaBYオープニング記念イベント「TRIAD DANCE DAYS」のメインプログラムでDaBYの初プロダクション(当初2020年5月上演予定)の「ダンスの系譜学」は、国際的に活躍する神奈川県出身の3名のダンスアーティスト、安藤洋子、酒井はな、中村恩恵を通して「振付」について考察するプログラムです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、延期日程を調整していましたが、横浜トライアウト公演では、3名のダンスアーティスト作品の日程を分けて上演することが決定しました。

中村恩恵	酒井はな	安藤洋子
7月3日(土)~4日(日)	8月21日(土)~22日(日)	9月25日(土)~26日(日)
イリ・キリアン振付 『BLACK BIRD』よりソロ	ミハイル・フォーキン原型 酒井はな改訂 『瀕死の白鳥』(チェロ:四家卯大)	ウィリアム・フォーサイス振付 『Study #3』よりデュオ (共演:島地保武)
中村恩恵振付・出演 『BLACK ROOM』(世界初演)	岡田利規演出・振付 『瀕死の白鳥 その死の真相』	安藤洋子振付・出演 新作 (共演:小尻健太、木ノ内乃々、山口泰侑)

尚、全プログラムを同時にご覧いただける愛知公演(世界初演)は、10月1日(金)~3日(日)に愛知県芸術劇場にて上演します。

プログラム詳細はこちら (https://dancebase.yokohama/event_post/triad-dance-days) をご覧ください。

PROFILE

名称	Dance Base Yokohama (ダンスベースヨコハマ)
愛称	DaBY (デイビー)
所在	KITANAKA BRICK&WHITE (北仲ブリック&ホワイト) BRICK North 3階 神奈川県横浜市中区北仲通5-57-2
URL	https://www.dancebase.yokohama
開館時間	10:00 - 18:00 (火~土/日・月 休) ※日曜日には、トライアウト公演やワークショップを実施する場合があります。 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日に休館いたします。 ※年末年始、お盆期間に休館有り。詳細はウェブサイトにてご確認ください。
アーティスティックディレクター	唐津絵理 (愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)
運営	一般財団法人セガサミー文化芸術財団

各チケットの申込は、Peatix (<https://dancebaseyokohama.peatix.com/>) よりお願いしております。
申込開始日程はそれぞれ異なりますので、各自確認のうえ、お申込みください。

チケット申し込みには事前のDaBYメンバーズ登録が必要です。DaBYメンバーズのご登録は、ウェブサイト (<https://dancebase.yokohama/members>) にてお願いいたします。



Dance Base Yokohama

プロフェッショナルなダンス環境の整備およびダンスに関連するあらゆるクリエイター育成に特化した事業を企画・運営する、ダンスハウス。複合芸術であるダンスの発展のため、振付家やダンサーといったアーティストのみならず、音楽家、美術作家、映像作家、照明デザイナー、音響デザイナー、またプロデューサーやプロダクションスタッフ、批評家、研究者、そして観客の皆様との交流拠点になることをめざしています。

DaBY CREATIVE STAFF



©Takayuki Abe

唐津 絵理 (DaBY アーティスティックディレクター / 愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)
お茶の水女子大学文教育学部舞踊教育学科卒業、同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、1993年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。2000年に所属の愛知県文化情報センターで第1回アサヒ芸術賞受賞。14年より現職。10年～16年あいちトリエンナーレのキュレーター (パフォーミング・アーツ)。大規模な国際共同製作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは200を超える。文化庁文化審議会文化政策部会委員、全国公立文化施設協会コーディネーター、企業の芸術文化財団審査委員、理事等の各種委員、ダンスコンクールの審査員、第65回舞踊学会大会実行委員長、大学非常勤講師等を歴任。講演会、執筆、アドバイザー等、日本の舞台芸術や劇場の環境整備のための様々な活動を行っている。著書に『身体の知性』等。

PROFILE

DaBY CREATIVE STAFF



©Takayuki Abe

小尻 健太 (DaBY ダンスエバンジェリスト / 振付家・ダンサー)

1999年ローザンヌ国際バレエコンクール受賞。ネザーランド・ダンス・シアターIに日本人男性として初めて入団。退団後、スウェーデン王立バレエ団、Noism、シルヴィ・ギエム「6000 Miles Away」、キリアンプロダクションに客演する一方、ソロパフォーマンス『Study for Self/portrait』(2017年原美術館)など創作を軸に活動を展開。近年は、渡辺レイ、湯浅永麻と Optoを主宰するほか、フィギュアスケート日本代表選手の表現指導、Dance Lab「ダンサー、言葉で踊る」のキュレーター、さいたまダンス・ラボラトリ(彩の国さいたま芸術劇場)の講師 / ナビゲーターを務める。

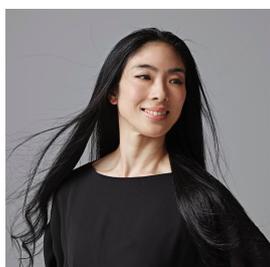


©Takayuki Abe

鈴木 竜 (DaBY アソシエイトコレオグラファー / 振付家・ダンサー)

横浜に生まれ、山梨・和歌山・東京で育ち、英国ランベール・スクールで学ぶ。これまでにアクラム・カーン、シディ・ラルビ・シェルカウイ、フィリップ・デュクフレ、インバル・ピント / アブシャロム・ポラック、エラ・ホチルド、平山素子、近藤良平、小尻健太、夏木マリなど国内外の作家による作品に多数出演。振付家としても横浜ダンスコレクション2017コンペティションIで「若手振付家のためのフランス大使館賞」などを史上初のトリプル受賞するなど大きな注目を集めており、作品は国内外で多数上演されている。

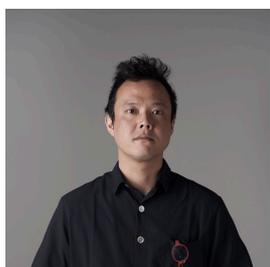
GUEST



©Tomohide Ikeya

酒井はな

アメリカのシアトルに生まれ、神奈川県鎌倉市で育つ。1979年からバレエを始め、畑佐俊明に師事。橘バレエ学校、牧阿佐美バレエ団に入団し、14歳でキューピット役に抜擢、18歳で主演デビュー。97年新国立劇場バレエ団設立と同時に移籍、主演を務める。07年劇団四季の『コンタクト』と09年『アンデルセン』にゲスト出演。13年ユニットAltneu〈アルトノイ〉として、島地保武との共同創作を本格的に開始する。96年村松賞新人賞、舞踊評論家協会新人賞、97年中川鋭之助賞、98年芸術選奨文部大臣新人賞、00年 服部智恵子賞、08年舞踊批評家協会賞、09年芸術選奨文部科学大臣賞、15年ニムラ舞踊賞、17年紫綬褒章など。



森永泰弘

東京藝術大学大学院を経て渡仏。帰国後は音楽・芸術人類学的な視座から世界各地をフィールドワークし、楽器や歌の初源、儀礼や祭祀のサウンドスケープ、都市や集落の環境音をフィールドレコーディングしながら音源制作や作品を発表している。



山崎広太

07年ベッシー賞、18年グッゲンハイムフェロー他多数受賞。ボディアートラボラトリー主催。ベニントン大学専任講師。

西村未奈

18年米ダンスマガジン、ベストパフォーマンス賞、19年FCAアワード(米・現代芸術財団賞)受賞。ベニントン大学MFAフェロー。

PROFILE / GUEST

**湯浅永麻**

ヨーロッパのコンテンポラリーダンスを牽引するオランダのダンスカンパニー、NDTに11年間所属後フリーとなり、マッツ・エック版『Juliet&Romeo』ジュリエット役、サシャ・ヴァルト『Körper』等にゲスト出演。渡辺れい・小尻健太と共同でOptoとしても活動、シディ・ラルビ・シェルカウイ率いるEASTMANにも所属しダンス、オペラ、演劇作品など多数出演。Kronos Quartet、現代美術家/ピアニストの向井山朋子、能楽師 安田登、建築家 田根剛、ファッションデザイナー 廣川玉枝、作曲家 world's end girlfriend らなどジャンルを隔てなく多方面にてコラボレーション作品を発表。

2019年第13回日本ダンスフォーラム賞受賞。2020年、XHIASMA project #003"site"として、オンライン/オフラインインスタレーション作品を発表。カウンターテクニクティーチャー資格を取得。海外、日本両方で多岐に渡り活動している。

**中村恩恵**

ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞受賞後渡欧。モンテカルロ・バレエ団等を経て、イリ・キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターに所属し、世界を牽引する振付作家達の創作に携わる。退団後は、キリアン作品のコーチも務め、パリ・オペラ座はじめ世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。2007年より、活動拠点を日本に移し振付家としての活動を精力的に展開。Noism、Kバレエ、新国立劇場バレエ団等に作品提供するなど活躍の場を広げている。舞踊批評家協会新人賞、芸術選奨文部科学大臣賞、江口隆哉賞文部科学大臣賞、服部智恵子賞、紫綬褒章等の受賞歴を持つ。

**オステアー紗良**

フランス人の父と日本人の母の元に生まれ、東京育ち。6歳、バレエを始める。

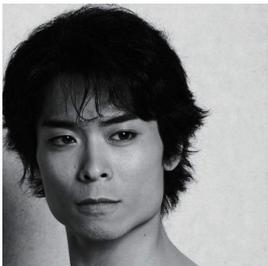
東京バレエ学校、カンヌロゼラハイタワーバレエ学校で学ぶ。

モニク・ルディエール監督カンヌジュニアバレエ団、アイゼンナハバレエ団、ライン国立バレエ団(フランス)、ライプツヒハバレエ団、フランダースロイヤルバレエ団のドゥミソリストとして所属、現在ベルリン国立バレエ団 ドゥミソリスト。

レパートリー

ジュリエット、クララ、金平糖、白鳥の湖、コッペリア、ジゼル、ドンキ、フォーサイス、 balan sin、シディラルビ、マイヨー、シェヒター、パイト、インガー、などヨーロッパのカンパニーを拠点に多くの舞台を踏む。

コンテとバレエの領域を行ききできるハイブリットダンサーを目指している。

**清水健太**

10歳よりバレエを始める。ワレリー・コフトン、宗田静子、原田高博、夏山周久らに師事。2000年ローザンヌ国際バレエ・コンクールにてスカラーシップ賞/コンテンポラリー賞を受賞。2000年～2001年英国ロイヤル・バレエ学校に留学。

2002年札幌開催のユース・アメリカ・グランプリにて1位、ニューヨーク開催の本戦にて銀賞受賞。同年、マイアミ・シティ・バレエ団に入団し、2004年にソリスト、2006年にプリンシパル・ソリストに昇格。2007年Kバレエカンパニー『ドン・キホーテ』に主演。9月、ジュニア・プリンシパルとして入団し、12月にプリンシパルに昇格。2009年～現在にかけてロサンゼルスバレエのゲストプリンシパル。

PROFILE / GUEST



中村祥子

1980年生まれ。6歳からバレエを習い始める。1996年、ローザンヌ国際バレエコンクールでスカラシップ賞を受賞。1998年までドイツ・シュトゥットガルトにあるジョン・クラニコ・スクールに留学。2000年、ウィーン国立歌劇場バレエ団に入団。2001年、ドイツ・ルクセンブルグ国際バレエコンクールで1位受賞。2002年、ソリストに昇格。2006年、ベルリン国立歌劇場バレエ団に入団、2006年にソリスト、2007年プリンシパルに昇格。2013年、ハンガリー国立歌劇場バレエ団にプリンシパルとして移籍。2015年からKバレエカンパニーのゲストプリンシパルとして活躍する。16年第66回芸術選奨 文部科学大臣賞(舞踊部門)、第47回舞踊批評家協会賞、18年第39回橘秋子賞優秀賞 受賞。20年第34回服部智恵子賞受賞。



米沢唯

愛知県出身。2010年にソリストとして新国立劇場バレエ団に入団。11年ビントレー『パゴダの王子』で主役デビュー。13年プリンシパルに昇格。04年ヴァルナ国際バレエコンクールジュニア部門金賞、06年ジャクソン国際バレエコンクールシニア部門銅賞など。14年中川鋭之助賞、17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、19年愛知県芸術文化選奨文化賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子賞優秀賞受賞。中村恩恵作品には17年19年『ベートーヴェン・ソナタ』ジュリエッタ役、19年『火の鳥』娘役として出演など。



福岡雄大

K★バレエスタジオにてバレエを始める。'03年文化庁在外研修員としてチューリッヒジュニアバレエ団に入団後、チューリッヒバレエ団に入団し'07年まで所属。'09年新国立劇場バレエ団に入団、'12年プリンシパルに昇格し、以後ほぼ全ての作品に主演している。Birmingham Royal Ballet, Primorsky stage of the Mariinsky Theaterへもゲスト・プリンシパルとして出演する他、トルコ・メルシン、ドイツ・ドルトムントでのガラ公演にも出演。コンクール受賞歴はこうべ全国洋舞コンクール・シニア部門グランプリ、ヴァルナ国際バレエコンクール・シニア部門第3位など輝かしく、'11年中川鋭之助賞、'13年舞踊批評家協会賞、'18芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。



ディルク・ハウブリッヒ

ドイツ、ザールブリュッケン生まれ。ロンドンで学び、オランダハーグ王立音楽院を卒業後、Joel Ryanに師事。コンピューターなどのテクノロジーを用い、電子音楽を基にした作曲・新しい音楽表現を用いて1998年より数多くの舞踊作品の音楽を手掛け、現在はドイツ、ベルリンを拠点に活動中。振付家イリ・キリアンには『27'52』『sleepless』『When time takes time』『Far too close』などNDTの15作品に音楽を提供。中村恩恵とはソロ作品『ブラックバード』、中村が2007年Noismに振り付けた『Waltz』、10年中村・首藤による『時の庭』、11年・13年新国立劇場『Shakespeare THE SONNETS』、13年『小さな家』などで創作を共にしている。ハウブリッヒの芸術的スタイルは、聞こえないものと想像できるもの間を橋渡ししようとしている。

PROFILE / GUEST



©Dominik Mentzos

安藤洋子

横浜生まれ。木佐貫邦子に師事。2001年よりフランクフルトバレエ団 (Ballett Frankfurt) にアジア人として初めての入団を果たす。04年 フランクフルトバレエ団解散後も引き続きザ・フォーサイス・カンパニー(The Forsythe Company)に在籍し、15年のカンパニー解散までの15年間、中心ダンサーとして、世界各国の舞台上で踊り、フォーサイスの40作品に出演。

01年以降、カンパニーの活動以外では、自身が作/演出/出演するダンス作品発表のほか、国内外の音楽家や現代美術家等とのコラボレーション、メディアテクノロジーを使ったダンスの創作と教育などにも積極的に取り組んでいる。現在、横浜とNYを拠点に活動。



©Kikuko Usuyama

岡田利規

演劇作家／小説家／チェルフィッチュ主宰

1973年横浜生まれ、熊本在住。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』で第2回大江健三郎賞を受賞。16年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピールレのレパートリー作品演出を4シーズンにわたって務め、20年『The Vacuum Cleaner』が、ドイツの演劇祭Theatertreffenの“注目すべき10作品”に選出。18年より『プラータナー：憑依のポートレート』をバンコク、パリ、東京にて上演。同作で第27回読売演劇大賞 選考委員特別賞を受賞。



©ryu endo

島地保武

2006～15年ザ・フォーサイス・カンパニーに所属。酒井はなとのユニットAltneu〈アルトノイ〉を結成。資生堂第七次椿会メンバーになりパフォーマンスに加えインスタレーション作品を展示。近年は、愛知県芸術劇場製作での環ROYと共作共演の『ありか』、フランス国立シャイヨー劇場のレジデンスプログラム（ファブリック・シャイヨー）に日本人で初めて選ばれ滞在制作をし『Oto no e』を創作。神奈川県芸術劇場KAAT制作で映像作家さわひらきと共に舞台作品『Silts』を創作しAltneuで出演など。